剣道基本 小中生に指南

全日本12回出場 米屋さん（埼玉）

越前市

剣道教室で、基本の打ち方を指導する米屋さん（手前）＝9日、越前市武道館

全日本選手権に史上最多の12回出場している米屋勇一さん（39）＝埼玉県警＝を招いた剣道教室が9日、越前市武道館で開かれた。小中学生約130人が参加し、打ち方の基本や日々の鍛錬の大切さを学んだ。

2018年の福井国体に向けた越前市の強化事業の一環。委託を受けた市剣道連盟が午前に小学生、午後に中学生対象の教室を開いた。

東京都出身の米屋さんは33年間剣道を続けており、全日本選手権3位など全国トップレベルの選手。中学生対象の教室には越前、鯖江両市と南越前町から1、2年生約90人が参加した。

米屋さんはアキレスけんを切る大けがから猛練習で復活を果たしたエピソードを紹介。「人間は、どれだけ努力しても次の日も練習できる。限界は上げられる」と述べ、日々の積み重ねの大切さを強調した。

実技指導では、竹刀の握りや足の運びなど基本を中心に説明。より速く強く打てる手首の使い方といった現役選手ならではの実戦的なアドバイスもあった。生徒たちは技術を自分のものにしようと、熱心に聞いていた。（大谷純平）

死亡事故ゼロへ 交通安全祈願祭

越前町交通指導員会

越前町交通指導員会の交通安全祈願祭は9日、同町織田の劔神社で行われた＝写真。関係者が祈りをささげ、死亡事故ゼロへ決意を新たにした。

内藤俊三町長、丹生章二鯖江署長、同会や鯖江

クルカル自動車